

次年度（令和７年度）に向けた改善方策

重点目標：「はじめに子どもありき」を基盤とした「みんなに居場所（時間・空間・仲間）がある楽しい学校」を実現する。

重点 目 標 1	(1) 重点目標	時間：「キャリア・未来デザイン教育」を推進する。
	(2) 数値による指標	「意欲的に授業に取り組んでいる」と答える児童を80%以上にする。
	(3) 改善方策 ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	・教育DXを推進し、「協働的な学び」（生活・総合的な学習の時間でのやりたいことが実現できる体験）を充実させる。
重点 目 標 2	(1) 重点目標	空間：一人一人が安心して過ごせる学校づくりを推進する
	(2) 数値による指標	「学校には、ほっとできる場所や時間がある」と答える児童を90%以上にする。
	(3) 改善方策 ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	・互いのよさを認め、多様性を尊重することで、誰一人置き去りにしない、一人一人の個性が生きる教育を展開する。 ・自分のペース、進度に合った单元内自由進度学習を進め、「個別最適な学び」を充実させる。 ・教室内の居場所の工夫、ほっとルーム等の整備を行う。
重点 目 標 3	(1) 重点目標	仲間：多様性を尊重しながら共に学び、共に育つ教育を推進する。
	(2) 数値による指標	学校には、自分自身の活躍の場がある」と答える児童を80%以上にする。
	(3) 改善方策 ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	・話し合い活動や学級活動の充実、不登校の未然防止に組織的に取り組み、一人一人が安心して過ごせる学校にする。 ・特別支援学級と通常学級の交流をすすめ、共生社会の実現に向けて生きる力を育てる。（インクルーシブ教育） ・中学年以上で教科担任制を進め、多くの教師の目で多角的に児童を見守る。